



報道関係各位

2018年3月30日

ビール酒造組合



2018年度「STOP！ 未成年者飲酒プロジェクト」について

ビール酒造組合(会長代表理事:布施 孝之)及び会員であるビール 5 社(麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・サントリービール(株)・アサヒビール(株)・オリオンビール(株))は、未成年者の飲酒防止を目的として 2005 年より「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトを展開してきましたが、本年も昨年に引き続き、4 月にキャンペーンを実施いたします。

本プロジェクトでは未成年者飲酒防止を呼びかけるメッセージを作成し、首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、沖縄県で交通広告を出稿いたします。

また、日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会、日本ボランティアチェーン協会、日本カラオケボックス協会連合会の協力を得て、各協会の加盟社における店頭、店舗内で未成年者飲酒防止の告知活動を展開してまいります。

キャンペーン後に首都圏・関西圏で効果測定を実施していますが、前回の調査でも「STOP！ 未成年者飲酒」キャンペーンの認知度は継続して約 90%となっており、確実に理解促進の成果を挙げております。

■展開メッセージ

「なぜ、未成年者の飲酒はいけないのか」を、主に未成年者の身体への影響の観点と、未成年者を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し、展開します。(メッセージは別紙参照)

■主な展開内容

1. 交通広告の実施

- 1) 全国 8 エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市)の電車内、また、沖縄県のバス車内において、未成年者飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。
- 2) コンビニエンスストア業界・スーパーマーケット業界・カラオケボックス業界の協力参加
「STOP！ 未成年者飲酒」のシンボルマークをデザインした POP 類を利用し、告知活動に参加していただきます。

<主催> ビール酒造組合

<後援> 国税庁 内閣府 厚生労働省



ビール酒造組合

《メッセージ》

きっぱり、断る。
STOP! 未成年者飲酒

「なぜ、未成年者の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代の大切なカラダを守るため」という自覚。

STOP! 未成年者飲酒

STOP! 未成年者飲酒のロゴマークは、www.stop-underagedrinking.com
STOP! 未成年者飲酒のロゴマークは、KIRIN・SAPPORO・DAIICHI・ASAHI・DAI NIPPON ビール酒造組合

「きっぱり、断る。STOP！未成年者飲酒」

「なぜ、未成年者の飲酒が法律で禁止されているのか？それは私たち10代の大切なカラダを守るため」という自覚。

大人が、すすめない。
STOP! 未成年者飲酒

10代の飲酒のリスクを知った。「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

STOP! 未成年者飲酒

STOP! 未成年者飲酒のロゴマークは、www.stop-underagedrinking.com
STOP! 未成年者飲酒のロゴマークは、KIRIN・SAPPORO・DAIICHI・ASAHI・DAI NIPPON ビール酒造組合

「大人が、すすめない。STOP！未成年者飲酒」

10代の飲酒のリスクを知った。「まあ、飲めよ」なんて、絶対に言えなくなった。

この件に関するお問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区銀座 1-16-7 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <http://www.brewers.or.jp>